

所長だより第86号 令和8年3月3日

希望の船

We love BIWAKO

「みずうみに学んで世界の明日をひらく人」

滋賀県立びわ湖フローティングスクール

〒520-0047 大津市浜大津5丁目1番7号

<https://uminoko.jp/>

この1年を振り返って

【所長 川岸哲也】

令和8年2月18日(水)19日(木)、大津市立平野小学校②、大津市立藤尾小学校、大津市立比叡平小学校が第102回児童学習航海を実施いただきました。航海の最後に大津港停船中の学習船「うみのこ」において、3校の先生方、児童の皆さん、学習船「うみのこ」船長、食堂店長、県教育委員会事務局幼小中教育課長のご臨席を賜り、令和7年度児童の終航式を開催しました。これをもって、令和7年度の航海が全て終了したこととなりました。



終航式：花束の贈呈

今年度のフローティングスクールを振り返ってみますと、4月21日に今津港から第1回の航海がスタートしました。気持ちのよい春が短く感じられ、6月の終わりからは熱中症に気をつけながらの航海となりました。寄港地活動の実施に当たっては、気温が上がる前の2日目の朝に行っていたいたり、日陰でこまめな休息・水分補給をしていただいたりしながらの活動となりました。

9月の「うみのこ」見学会には、約2000人の皆さまに参加していただきました。昨年度が約1200人の参加であったことを考えると、今年度は様々なメディアで「うみのこ」を取り上げていただく機会が多く、県民をはじめ、多くの方から注目されていることを改めて感じる1日となりました。



9月「うみのこ」見学会

12月以降は濁水により予定していた停泊地に寄港できない航海が約2か月続きました。乗船いただいた学校には、新たに寄港地活動の計画をしていただく必要があり、フローティングスクールからも寄港地の情報を詳細にお伝えさせていただきながらの実施となりました。1年を通して、「暑さ」や「濁水」など、私たちではコントロールできない自然との付き合いがありました。乗船校の先生方は、そのことも子どもたちの学ぶ機会と捉えていただき、丁寧にご指導いただいている姿に頭がさがりました。ありがとうございました。そして、暑い時も雪の舞う凍える日も「うみのこ」には子どもたちの笑顔であふれていました。その責任の重さを感じ、どの子どもにとっても一生に一度の航海が充実したものになるように今後とも努力する所存です。

さて、学習船「うみのこ」は、3月に入ってすぐに、エンジンや船体の検査や整備・点検のために、大津港を離れ、造船所のドックに入ります。約1か月近くかけて、来年度の新5年生が安全・安心な航海が行えるよう、万全の備えをしたいと思います。そして、また、4月には乗船いただく学校・子どもたちを、心を尽くしてお迎えしたいと思います。

最後になりましたが、今年度の航海を無事終えられたのは、フローティングスクール事業に関わってくださった全ての方々のご支援、ご協力のおかげです。心よりお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。